

(別 紙)

## HPVワクチンの男性への早期定期接種化を求める意見書（案）

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、子宮頸がんのみならず、中咽頭がん、肛門がん、陰茎がんなど、男女双方に発症する様々ながんや疾病の原因となるウイルスである。

現在、我が国では、HPVワクチンは女性を対象とした定期接種として実施されているが、男性については任意接種であり、接種費用が自己負担となることから、接種機会に大きな格差が生じている。

一方、諸外国では男性への公費接種が広く導入されており、HPV 関連疾患の予防や感染拡大の抑制に一定の成果を上げている。また、我が国においても、男性へのHPVワクチン接種の有効性及び安全性に関する科学的知見が蓄積されており、接種機会の確保を求める声は年々高まっている。さらに、男性へのHPVワクチンの接種は、男性自身をHPV関連疾患から守るだけでなく、女性への感染拡大を抑制し、社会全体の健康増進にも資するものである。

よって、国においては、国民の生命と健康を守る観点から、下記の事項について早急に取り組まれるよう強く要望する。

### 記

- 1 男性に対するHPVワクチンの定期接種化について、科学的知見及び費用対効果等の検討を速やかに進め、早期の実施を目指し、必要な制度整備を行うこと。
- 2 男性へのHPVワクチン接種の有効性及び安全性について、国民に対する正確で分かりやすい情報提供と普及啓発を一層推進すること。
- 3 定期接種化に当たっては、地方自治体が円滑に実施できるよう、十分な財政措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年9月 日  
高松市議会

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 衆 | 議 | 院 | 議 | 長 | } | 宛 |   |
| 参 | 議 | 院 | 議 | 長 |   |   |   |
| 内 | 閣 | 総 | 理 | 大 |   |   | 臣 |
| 財 |   | 務 |   | 大 |   |   | 臣 |
| 厚 | 生 | 労 | 働 | 大 |   |   | 臣 |